

みなさん、ご用心！



いま、大震災と原発被害に苦しむ被災者の支援と住民本位の復興こそが求められているのに、民主党政権はごくさまたげに、これまでやれなかったような自民党以上の悪政への突破口をひらこうとしています。

消費税を
10%に引き上げ

政府・与党は、震災からの復興を口実に、「税と社会保障の一体改革」を方針にかけ、「社会保障の財源」にあてるとして「2010年代なかばまでに消費税を10%まで引き上げる」ことを党として決め、閣議決定に持ち込もうとしています。これは被災者にもお年寄りや派遣切りの青年にも等しくかけられ、私たちの生活をいつそう苦しめるものです。

震災口実の
大量解雇横行

被災地では、期間社員150人全員を解雇しようとしているソニーをはじめ、大企業や派遣会社による違法な

解雇・雇い止めがまん延しています。5月末で期間社員の半数を解雇したばかりのホンダは、新たに1000人を募集するという労働者の「使い捨て」ぶり。震災を口実としたこうした解雇、リストラに全国で批判とたたかいの輪がひろがっています。

TPP交渉
「早期の決断」ねらう

5月の日米首脳会談で菅総理はオバマ米大統領に「震災で遅れているが、TPP交渉についてできるだけ早期に判断したい」と伝えています。この背景には、関税撤廃や規制緩和を求める財界の強い働きかけがあります。

これに反対するたたかいは全国に大きく広がり、市民団体、自治体、労働組合などで学習や反対集会が開かれています。全国農業協同組合

地域の話から

渋田見北河原地区に バラ園オープン



昨年7月に発足した池田町バラ愛好会のバラ園が、6月25日オープンしました。

場所は北アルプスを一望する渋田見の東山中腹高台（ロツチ「赤い屋根」南側斜面）、ハーブセンターのちょうど真東にあたります。

会は、ニモアカシアが生い茂る荒廃農地を一年がかりで開墾し、切り株を掘り石を拾い、堆肥を施し、春先に約100本のバラ苗を植えました。

梅雨とともにようやく花がふくらみ、色とりどりの花を見ることができるようになりました。

チップを敷き詰めた通路をまわると、ドキッとするほどの深紅の大輪「熱情」の隣に、バラ園のシンボリック存在の「アンネのバラ」が清楚に咲いています。

会では、バラを中心とするガーデニングを通して、バラの育て方や管理の仕方などを学びたいと話し、同時に「花とハーブの里」にふさわしい、町民の憩いや交流の場になればいいと考えています。



バラ開園パーティーでの記念写真
（6月25日開園式・中央は勝山町長）

中央会（JA全中）が取り組むTPP参加反対署名は1120万명에達しています。

普天間基地へのオスプレイ配備、辺野古への新基地建設を確認

政府は、アメリカが普天間基地に来年10月から予定している、垂直離着陸輸送機MV22オスプレイ配備に同意し

ました。開発段階から何度も墜落している欠陥機の配備

強行に沖縄県民は猛反発。同時に、政府が名護市辺野

古への新基地建設を再確認したことも、沖縄県民の意志

を全く無視するもので許すことができません。

さらに、7月6日防衛省の研究会「中間報告」を受けて、武器輸出3原則の見直しに踏み出そうとしているこ

ももこの 健康教室

認知症の初期対応

“認知症の初期ってどんな症状があるか知りたい”との声に応えて主な症状とその対応を述べてみます。

認知症は治すことはできません。しかし、初期の治療で進行を遅らせることは可能だと言われています。

家族から見て“ちょっとおかしいな”と気づくときが初期の段階です。

<初期症状>

・何度も同じことを言ったり、聞いたりする。少し前にやったことを忘れてしまい、同じ行為を行う。たとえば、朝畑に行って消毒を済ませたのに、夕方また消毒に出かけるなど。

・電話を受けたときや、人と会話をした直後に話の内容を忘れる。
・ついさっきのことを忘れてしまうため、つじつまの合わない行動をとる。

・食事のように、時間で繰り返される行為が、時としてわからなくなる。進行すると、食事したことを忘れてしまう。
・人の話を聞かなくなる。

このようになると本人も少し混乱してきます。他人との会話は普通に成立しますので、初期は人に気づかれません。しかし、本人は会話内容を忘れてしまうので、不安を感じるようになります。最も身近にいる家族が早めに気づいて専門医に相談することが重要です。本人に対し「どうしてわからないの?」「さっき言ったでしょう?」などと責めないことがカギです。

相談は認知症疾患医療センターをお勧めします（中信地区は安曇総合病院です）。



垂直離着陸輸送機MV22オスプレイ

とも見逃せません。

ファンクラブ臨時総会（7/7）ひらく

町民に読まれ、親しまれる紙面めざして、 通信員制度で会員・読者の声をもっとニュースに反映

日本共産党池田ファンクラブは7月7日臨時総会をひらき、今後のファンクラブニュースの充実発展をめざす課題と方針を討議するとともに、役員の一部改選を行いました。また、東日本大震災被災地での現場の様子や支援の取り組みが紹介されました。

会 長 太田 勅
副会長 山本 久子
事務局長 牛越 邦夫
幹 事 服部 守正
米沢 加奈子
村端 浩

「通信員はとても大事。防災など住民が関心を持つている内容をもっと取り上げて欲しい」
「ただ配るだけではなく、会員・読者とニュースをもっと結びつけるような体制が必要」
などの意見が活発に出されました。

総会では、役員会から今後の方針として提案された①会員に10名程度通信員になってもらい、町や身の回りの記事をニュースに寄せてもらう、②配達者を増やして、特定の人に負担がかからないように配慮する、③ファンクラブのニュースの作成・編集を担える人を育て増やす・を満場一致で採択しました。

総会では、役員の一部改選を行いました。それを受けて後日開いた役員会で、新役員体制を次のように決めました。



真剣に議論するファンクラブ臨時総会参加者